



# しらゆり

2021.3

(令和3年)

発行

【発行所】沖縄女子短期大学 白百合同窓会 〒901-1304 与那原町東浜1番地 TEL098-946-3907

## 卒業おめでとう

若芽の息吹とともに、春の訪れを感じさせる季節となりました。この日を迎える事となりました卒業生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。

昨年は、本当に大変な年になりました。新型コロナウイルス感染症に社会全体が翻弄された一年となり、私たちの社会活動や暮らしに大きな影響を及ぼしています。母校沖縄女子短期大学でも、四月より授業が制限され、リモートやソーシャルディスタンスを考えた対面授業に加え、実習やボランティア、学校行事なども形式や規模の変更で開催され、これまでにない不自由な環境を味わつたことでしょう。一方、これまで気にすることの無い当たり前の毎日に、改めて感謝する日々も味わうことができました。

さて、我が同窓会の一つの使命は、新時代における母校のサポートだと考えています。少子化社会の中で教育行政が大きく変わりつつあり、同窓会は母校の教育環境整備や学力向上、学生支援や就職活動等のサポートという役割を果たしながら、活性化と発展に繋げられればと思つております。

社会の大きな変化に見舞われた二〇二一年という年に、みなさんが新しい道に進まるるスタートを切ります。みなさんの前途は洋々として希望に満ちています。みなさんの可能性を現実のものにするため一層の精進をして、持て生まれた才能を存分に發揮してください。

白百合同窓会 会長 比嘉 佳代

は、本日までみなさんを慈しみ育ててくださったご両親や諸先生方のご恩に報いる事です。「感謝」の心を忘れずに頑張ってください。

そして、卒業と同時に皆さまは「白百合同窓会の会員になられます。あらゆる年齢層の多くの会員の皆さんにご理解とご協力をいただきたい充実した会活動を目指していきたいと思います。どうぞよろしくお願い申し上げます。



## CONTENTS

●同窓会 会長 卒業式あいさつ	1	●沖縄女子短期大学の思い出	6・7
●会員の事業紹介	2	●白百合同窓会役員名簿・寄付金贈呈	7
●会員の保育園等紹介	3・4・5	●活動状況・お知らせ	8

# 会員の事業紹介

沖縄女子短期大学第八期生として卒業、東京杉並区の保母に採用され、杉並区の子供達と過ごしました。

二年後、沖縄県各地域、公民館で行われていた幼稚園が、保母有資格者の配属された保育所施設として開設し、私も大宜味村の保母として勤務することになりました。何もかも初めてづくし、社会はまだ幼児教育に関心が無く「一日子どもと遊んで給料取っている」みたいな冷ややかな環境の中、地域に理解を求める為、大宜味村内公民館で、人形劇やボードビルを親子で見る会を開催し、やんばるでも幼児教育、児童文化を伝える活動ができました。

女子短大在学中に鎌田佐多子先生が顧問で指導して頂いた「児童文化クラブ」で、沖縄全県を巡って公演した経験を活かせました。

バブル経済がはじけ不況の風が吹き全国的に行政改革（行政改革）の嵐です。大宜味村も保母削減で乗り切ろうと、保母を役場の行政職に異動させ、私もその行政の対象となり異動命令を受け、福祉部門から農業部門、農業委員会と目まぐるしく部署を変わりました。

保母は幼児教育をとおし人材育成が務めなら、農業、産業は経済の人材育成と受け止めればいいと考えを変え、農業育成に気持ちを切り替え、村内の農家さんと交流を持ちました。その中で、耕した畑からの赤土流出が問題となり、自然環境をいかに守るか？対策は重要な課題でした。色々試した中で、畑を前面覆うといふ作物、日本蕎麦の種をまいたら見事な花が一面に咲き乱れ、花を見た方が、「日本そばが食べたい」との事でしたので、大宜味村で「日本そば祭り」を開催する事になり、小さな村に千人以上が押し寄せ、並んでも食べられずに帰られたという方々が大勢いる事に驚きました。

手打ちのそばは多くの方が楽しめる食べ物という事と、やんばるに訪れる方が増え観光資源に繋がるのでは？との思いから話し合いを行い「やんばる手打ちそば俱楽部」を立ち上げ、二〇二〇年二月二三日に全麺協そば打ち認定試験にて、一二三名が手打ちそば認定初段を取得する事が出来ました。

現在は、各施設を巡り、日本蕎麦の普及活動として、手打ちそばの指導を行っています。

白髪も目立つようになつた六五歳、今、又新しい人材育成に繋がつていることに、女子短期大学の児童文化クラブでの活動が肥やしになつていると感じています。

八期卒業生 やんばる手打ちそば俱楽部 代表 宮城 久美子



# 会員の保育園等紹介



**保育園あがみつい**  
(株式会社おきなわedu)

所在地  
電 話

那覇市松尾1丁目9番地40  
098-943-0271

園名

保育園「あがみつい」は二〇一五年二月、那覇市松尾にオープンしました。先だって、二〇一二年に首里でスタートした学童保育と児童発達支援事業所に通う子どもたちと関わる中で、一番大切な〇～六歳児の時期に、丁寧な保育をしたいと考え、Office育子さんと共に発達心理学と交流分析を取り入れた「TAPD」を導入した保育の取り組みを始めました。

同時に、併設して開所した「児童発達支援施設」は、発達のでこぼこを持つ子ども達の療育と地域の保育園への入園を目指して、保育園との交流を通して、インクルーシブ保育・教育についても考えています。私たちの目標は、これまでとは違う新しい保育とは、個を集団に合わせていいくのではなく、個別の支援計画（IEP）を基に集団保育をどう作り上げていくかを考える新しい保育です。

昨今、日本の子ども達の育成環境が極めて深刻な状態になり、子どもたちの育ちに変化が見られてきています。実際に、当該年齢で到達しているはずの発達の課題をクリアできない子ども達が増え、子の発達は全体的に緩やかになつている今、保育指針の示す保育に対する考え方を変えず、保育の仕方を変えていくプログラムを導入し、私たちは、現代に子ども達に必要な保育を創つていきたいと考えています。

関わる全ての子ども達の今を支援すると同時に、この子たちが将来社会で納税者となり沖縄を担っていくことを宣言葉に保護者や地域の関係者と共に、未来を考え保育・療育を行っています。

保育園「あがみつい」は二〇一五年二月、那覇市松尾にオープンしました。先だって、二〇一二年に首里でスタートした学童保育と児童発達支援事業所に通う子どもたちと関わる中で、一番大切な〇～六歳児の時期に、丁寧な保育をしたいと考え、Office育子さんと共に発達心理学と交流分析を取り入れた「TAPD」を導入した保育の取り組みを始めました。

同時に、併設して開所した「児童発達支援施設」は、発達のでこぼこを持つ子ども達の療育と地域の保育園への入園を目指して、保育園との交流を通して、インクルーシブ保育・教育についても考えています。私たちの目標は、これまでとは違う新しい保育とは、個を集団に合わせていいくのではなく、個別の支援計画（IEP）を基に集団保育をどう作り上げていくかを考える新しい保育です。

昨今、日本の子ども達の育成環境が極めて深刻な状態になり、子どもたちの育ちに変化が見られてきています。実際に、当該年齢で到達しているはずの発達の課題をクリアできない子ども達が増え、子の発達は全体的に緩やかになつている今、保育指針の示す保育に対する考え方を変えず、保育の仕方を変えていくプログラムを導入し、私たちは、現代に子ども達に必要な保育を創つていきたいと考えています。

## 子ども達に安全と安心を



## 保育園あがみつい

園長 比嘉 佳代  
第二十三期・二部卒業

私は、二十代の頃に専門学校を卒業し就職しましたが、まだ男女の格差があり、女性が力を發揮できる社会ではなく、沖縄女子短期大学二部に社会人枠で入学し、児童教育科で三年学び直しをしました。

その後は、保育の道には進まず、経済団体で事務局として再び就職しましたが、そこでは、女性の社会進出や障害者問題、人財育成の仕事に携わり、県経済の発展に寄与してきました。

その後、前職に在職中、第2子の妊娠が分かりました。妊娠5か月の定期検査で、障がいが疑われ、出生前検査(羊水検査)で、ダウン症だと判明しました。障害を持った我が子を産み育てることで、仕事を諦めるたくないし、子育て(療育)に全力を注げない環境も選択したくないと思い、仕事も子育ても諦めない生き方、子どもの人生も私の人生も豊かにしたいと言う思いで、長く務めた会社を退職し、弊社を設立しました。

さらに、第一子を出産後、仕事と家庭の両立てで体調を崩し、メンタル不安定で落ち込んだ時期が長く続きました。その時に、多くの女性経営者の先輩の励ましで乗り越えられ今があります。今後は、その恩返しの意味で、女性の社会参画について考え、母として女性としてイキイキと輝き、男性と共に手を取り、誰もが生きやすい社会を創つてくことができる企業にしていきたいと考えています。

# 会員の保育園等紹介

園名	社会福祉法人才レンジ会 オレンジ保育園・オレンジ第二保育園・ 金城子ども園	所在地	那覇市田原1-8-9
		電 話	098-857-9585

乳幼児期の遊びの保障をしっかりと！

みずみずしく、誰からも愛される

オレンジの如く、豊かな実と育まん

沖縄女子短期大学二十七期卒業

理事長 宮里美代子

那覇市小禄地域にある（那覇市金城）社会福祉法人オレンジ会は米軍基地から返還された場所であり、原野となつた土地の開拓が平成元年から始まり金城小中学校を含め、イオン等商業地が次々と開発が進みました。

その中で、オレンジ保育園は平成二年に誕生し、三十三年目を迎えます。

壮大なススキの原が揺れ動く中に何も家もなかつた所が、現在はモノレールが走り、新興住宅が建ち並び、整備された公園が数カ所にあり、素晴らしい都市へと変貌しました。



を身につけるために豊かな自然の中で遊びを通して、たくましい体力と、オレンジの実のようにみずみずしい豊かな感性を育てたい、そのような願いのもとにオレンジ保育園、オレンジ第二保育園、金城子ども園と三ヶ所の施設で沢山の子どもたちの、保育教育に当たっています。

子どもが産みやすく、育てやすい、そして保護者と子どもと園が三位一体となつて子どもが、今育とうとしている力を引き出し、子どもの人権を尊重した主体的な子どもの育ちを見つめ職員が切磋琢磨し常に向上心を持つて保育・教育を練り上げております。

沖縄女子短期大学を卒業して賢明に働いている同期の保育士・保育教諭も十数名おり、子どもが喜ぶ遊びを賢明に作ることに情熱を燃やしています。

新しい時代での中で、子どもたちが自信を持つて生きられるように、次の保育目標を掲げております。

- 一、健康で心豊かな子(大切に尊重されて育つことが大切)
- 一、自分から行動できる(大人の指示・命令ではなく自分で考え決めるように働きかける事が大切)
- 一、自己表現して遊べる(自分の思いを伝え、他者の考え方と折り合いがつけられるように感謝の心が大切)



## 会員の保育園等紹介

### 私たちが子どもたちのために最善を尽くします

園名	社会福祉法人 ポプラ福祉会 しゅりの泉こども園	所在地	那覇市首里石嶺町4丁目1番地8
		HP	<a href="mailto:syurinoizumi@theia.ocn.ne.jp">syurinoizumi@theia.ocn.ne.jp</a>

#### ＊園長紹介＊



**村上 秀美**

(41期卒業)

園の自慢は職員です!!  
趣味はガーデニングと  
美術鑑賞。

好きな食べ物はゴーヤー。

座右の銘は  
「仕事を心から愛し  
最善をつくします。」

#### ＊園舎紹介＊



ゆいレール石嶺駅から徒歩4分

#### ＊保育・教育の様子＊



ちゅうりっぷが弾けたよ♪



イベントに出演



空手の時間楽しいな!



野菜収穫!

#### ＊自園PR(私たちのこども園)＊

私たち、平成29年4月に「しゅりの泉保育園」として開園し、平成30年4月に「しゅりの泉こども園」として新たに再スタートしました。

園庭にはハーブ、色彩豊かな草木、花々が咲き誇り、職員、園児たちの心を癒してくれています。

給食に自園で取れたハーブを使用したり、また、乾燥させてハーブティーにしたり、職員も園児も自然からの恵みを日々の生活に取り入れ、豊かな園生活を送っています。

#### ＊私たちが行っている保育・教育の特徴です＊



①『遊びこむほど学びに向かう力が高まる』をモットーに保育教諭と子どもたちが、遊びの中から多種多様な経験、体験をしています。

②当園では旗頭・琉舞・空手・英語・体育・音楽の専門講師、職員が力を合わせ、子どもたちと一緒に学びを深めています。

#### ＊サポート体制＊

- 先輩保育士が、保育内容や事務処理をサポートします。
- 園の環境整備は保育助手が行いますので、保育に専念できます。



#### ＊先輩からのウェルカムメッセージ＊

私は3月に卒業して4月からしゅりの泉で働いています。子どもたちが成長していく姿に毎日ワクワクしています。歩けなかった子が一歩、二歩と歩く姿にはとても喜びを感じます。かわいい笑顔で抱きついてくる瞬間はとても幸せを感じます。私たちと一緒に職場で働きましょう!

## 楽しく過ごした沖女の思い出

七期卒 仲原記美江（旧姓 宮城）

沖縄女子短期大学へ希望と夢を抱き児童教育科へ入学したのは昭和47年でした。

八重山、宮古、本島の学友にも恵まれました。必須科目のピアノは悪戦苦闘のスタートでした。近くにピアノ塾、ピアノ教室もなく、入学してピアノに触れる事になりました。ピアノ教室、塾での経験を生かしどんどん進んで行く友人、始発のバスに2時間ゆられて、個室を見つけて講義が始まる直前まで単位落とすまいと必死でした。

課題曲が決まり練習している所へ学友が声をかけ手ほどきを受け助けてもらいました。時々課題曲以外も一緒に個室で練習する様になり不安だったピアノも好きになり家でオルガンで練習し乗り越えました。先輩達が誘う児童文化サークル（人形劇、ペープサート等）活動も楽しく出来ました。離島での活動も良き先輩達の指導の下で輪を広げられた事など感謝です。

保育実習で県外千葉県松戸市内で寮を貸し切り集団学習の経験できた事や実習の帰り道は近くの農園の方々の果物も沢山いただき、実習体験できたのも嬉しい思い出です。

私も卒業を迎える頃就職先も決まり入園式の準備をしている所へ地元で最初の保育所開所を迎えてひ頑張って欲しいと誘いをもらい、迷いましたが地元へ恩返しができるならと地元で勤める様にしました。

日々保育をしている中、学友との情報も取れず連絡先さえもなく気がつくと、沖縄女子短期大学創立50周年式典を迎える事がマスコミを通して知りました。それで名護市内で同窓会の仲間の集まりがある事を知り参加して、身近でサークル指導者も沖縄女子短期大学同窓生だと紹介されて知り合い互いにビックリしました。現在国頭村立こども園でパートとして勤めています。

そうしている中、北部支部長の指名をもらい、後輩達が一生けん命役割をしていた様子を聞かされ、自分にできるなら頑張ろうと引き受けました。

一筆想い出を綴りました。これからも益々のご繁栄をお祈りします。

## ～沖縄女子短期大学での学びを振り返って～

児童教育学科初等教育コース卒業 島袋 宗也

小学生の時、卒業式でみんなに伝えた「私の将来の夢」、それは先生になるということ。当時の担任の先生が好きだったということや教えることが好きという気持ちからだったが、成長するにつれ、その思いはだんだんと忘れていった。高校を卒業し、ホテルで7年勤務する中で、たくさんの学びを得て、再度、自分自身に問いかけた。本当にやりたいことは何なのか、何のために自分の命を使うのか。答えは「人を育てる」だった。

25才の10月に決心した時からのスピードはすさまじく、知人からおすすめの大学と教えてもらった女子短に電話をかけた。社会人枠の後期入試に間に合うことがわかり、受かるかもわからないまま退職届を出し、4月に念願叶い沖縄女子短期大学へ入学することができた。

短大では、多くの出会いと深い学びがあった。初等教育コース（Aクラス）の人数は44名で、年上の私にいろいろな考えを示し、たくさん感性をもらった。その中でも男性は自分を含めて7名おり、非常に固い絆が生まれた。

「私は、アンパンマンとドラえもんが好きです。なぜ好きでしょう。」算数の講義が始まり、先生がおっしゃった言葉だった。何をいっているのかと思ったが、「アンパンマンには慈愛の心に、ドラえもんは問題をいろんな方法や考え方クリアしていく。これは、非常に大切なことだ

から、好きなんです。」言葉を吟味して、熟考して使うことを知った。他の講義を担当される先生方からも情熱や表現すること、考えを深めること、情報の収集や扱い方等、「人を育てる」ために大切な心や技術の一端を学ぶことができた。先生方は、実践に勝るものはない、より多くの体験させて下さった。

私は、運良く教員採用試験を在学中に合格することができ、現在教職2年目であるが、これは間違いなく沖縄女子短期大学で学んだおかげであり、短大の2年間は、私にとってかけがえのないものであった。

「しらゆりの如く 気品と強さがあり 知性豊かで 愛情あふれる人を教育する。」私も苦しくなり心が揺らぎそうになるとこの言葉を思い出し、自分を奮い立たせ、子どもたちを笑顔で迎えています。皆様の心にも、いつもしらゆりが咲いていますように。

### 沖縄女子短期大学白百合同窓会役員名簿

役職名	氏名	役職名	氏名	役職名	氏名
顧問	寄川美智子	宮古支部長	瑞慶覧定代	評議員	渡嘉敷匡哉
会長	比嘉佳代	八重山支部長	川平孝子	評議員	幸本弘樹
副会長	名嘉元利保	評議員	赤嶺恵子	評議員	宮城奈美
副会長	崎浜美佐子	評議員	城間由美子	評議員	眞榮城健二
副会長	宮里美代子	評議員	新里カツ子	評議員	板良敷紀子
事務局長	島袋恵子	評議員	大城貴子	評議員	喜納恵美子
監事	前里めぐみ	評議員	村上秀美	評議員	田福真希
監事	大城香	評議員	眞喜志悦子	評議員	岡田枝里子
那覇支部長	登紀美	評議員	玉城十七美	評議員	新垣さき
南部支部長	金城翼	評議員	宮城久美子	評議員	下地愛梨
中部支部長	當眞照子	評議員	饒平名初美		
北部支部長	仲原記美江	評議員	金城盛晃		

### 寄付金頂きました

2月3日くすぬち平和文化館館長の眞榮城玄徳氏(元同窓会会长故眞榮城栄子氏ご主人)より金5万円のご寄付がありました。



眞榮城健二様(同窓会評議員) 寄川美智子顧問

## 活動状況

## 白百合同窓会令和2年度定期総会

去る令和2年6月14日(日)令和2年度定期総会が沖縄女子短期大学1階会議室で開催されました。

令和2年度の総会は、コロナウィルス感染症の感染予防のため会員が一堂に会することができませんでした。

それを受け、令和元年度事業報告及び収支決算、新年度の事業計画・予算、同窓会新役員改選の議案は執行役員の承認を得て決議されました。ぜひ、令和3年度の総会は多くの会員で集いたいです。

前役員の会長 寄川美智子様・副会長 神山浩子様・石川キヨ子様・赤嶺恵子様の皆様長い間大変ありがとうございました。



## 合同就職説明会



令和2年11月26日(木)に同窓会事業の取り組みとして合同就職説明会を本学体育館で開催しました。今年度より大学と連携をとり、学生の就職機会の拡充と教育的観点から大学と共に開催しました。

(就職説明会参加法人)12法人19園参加

## 寄付金贈呈式



今年度は未曾有の新型コロナ禍により、経済や雇用に大きな影響が出ている状況にあり、学生の就学支援の必要性がより増してきました。

それを受け、沖縄女子短期大学では令和2年12月に「沖縄女子短期大学修学支援基金」が創設されました。

そこで、同窓会は「沖縄女子短期大学修学支援基金」(沖女・愛ファンド)へ、令和2年12月9日に30万円の寄付をしました。

## お知らせ

## 沖縄女子短期大学修学支援基金(沖女・愛ファンド)の創設について

令和2年12月に短大において、今般の新型コロナ禍や様々な事情により、夢と希望をもって入学した学生が、経済的困難から学びの継続を断念することがないようまた、経営の安定化及び修学支援の充実を図っていくため「沖縄女子短期大学修学支援基金」が創設されました。

つきましては、学生の修学支援並びに教育機器等の充実を図る基金造成にご理解をいただき、会員皆様の温かいご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

なお、詳しいことは基金募集要項を同窓会会報「しらゆり」に同封いたしますのでご覧下さい。

## ホームページをリニューアルします。

これまで同窓会はホームページは開設しましたが、更新作業がスムーズに行われず、会員の皆様には大変ご不便ご不自由をおかけ致しました。

このような状況を改善すべく、この度ホームページをリニューアル致します。結成50周年事業に関すること、役員名簿、諸手続、トピックス等同窓会活動が会員の皆様により分かりやすくお届けできるよう努めてまいります。

リニューアルされた画面は令和3年4月からスタートの予定です。スマートフォンでもみられますので、ぜひご覧下さい。

